

ひだまり

目次

散歩道	1
さくら千手園	2
平成19年度事業計画	2
千手園日記	3
木の宮学園	4
平成19年度事業計画	4
木の宮日記	5
南部よもぎの園	6
平成19年度事業計画	6
新任職員紹介	6-7
情報フラッシュ	8

さくら千手園 佐倉市青菅 1019 043-462-2008
 木の宮学園 佐倉市青菅 1051 043-463-1008
 レインボー 佐倉市青菅 1051 043-463-1128
 南部よもぎの園 佐倉市大篠塚 1587 043-483-2829

sakurasenjuen@deluxe.ocn.ne.jp
 kinomiya@green.ocn.ne.jp
 s-rainbow@smile.ocn.ne.jp
 n.yomogi@cotton.ocn.ne.jp



ケアホーム山桜

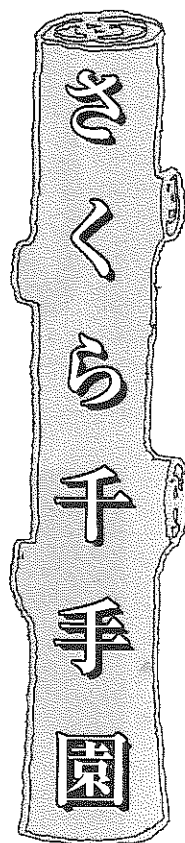
散歩道

平成19年6月、当法人に地域の中でより自立した生活を目指した共同生活介護事業所「ケアホーム山桜」がオープンしました。

新たに生活をスタートさせた方々は今までの生活と違うことがあり不安なこともあるようですが、それ以上に新しい生活への期待のほうが大きいようです。大人数での集団生活から自分だけの空間(個室)がある、家庭的な雰囲気の中での生活となり、部屋には何を置こうか、これが必要ななどと自分で考えて選択できる喜びを味わっているようです。又世話人の方々と何気ないおしゃべりの中で、地域の話題に触れたり、生活するうえで主婦ならではのアドバイスを受けたりと楽しい刺激がたくさんあり、ケアホーム内には笑い声が響いています。もちろんスタートしたばかりの生活ですから、一緒に暮らす仲間同士でトラブルが起きたり、何か困った事が起きたりするかもしれませんが、一人一人の状況に応じて細やかな対応を行っていきたいと思っています。

ケアホーム山桜の名前の由来でもあるホーム脇の山桜の大木がきれいな花を咲かせる頃には、すっかり地域の一員となった皆さんの笑顔も満開になることを期待しております。





平成十九年度 事業計画

まず始めに、①本年度中に利用者全員の障害程度区分認定を行います。また、ケアホームが本年3月に竣工し、6月1日から共同生活介護事業(定員5名)を開始しますので、まず最初に本園利用者の希望を伺いたいと存じます。ただ、障害者自立支援法の国の対応が流動的であることから判断が非常に難しいものと考えます。②4月1日より生活支援員5名の異動があり、利用者が情緒不安定になることが予測されます。ご家族の方々には、利用者との信頼関係が構築できるまで支えになっていただきたくお願いいたします。

さて、本園は本年6月で満20年を迎えます。この間、ノーマライゼーションの理念に基づき人間としての尊厳や人権を守り、個々の暮らしやライフステージを大切に支援活動を続け、生きがいを実感できる環境づくりに努めてきました。また、在宅障害児・者の支援活動としての各種事業を行ってきました。これからの地域の障害児・者の方々が一層利用しやすい障害福祉サービスづくりに努めてまいります。

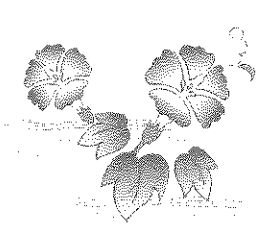
また、週2日の自由日課(週休2日)と週7日(昨年度前期は週4日、後期から週7日)の入浴を実施します。②健康管理・安全管理面では、細心の注意をはらい予防や早期治療を行います。また、昨年度に引き続きインフルエンザの予防接種を行うと共に、事故・ニアミス報告書を活用し怪我や事故防止などに努めます。

③行事面では、9月の千手会フェスタや1月の新年会は法人の全体行事として行います。また、日帰り親子旅行や毎月の1日外出を行います。更に、利用者の希望による旅行としての個別外出(日帰り・1泊2日・年1回・オプション)を実施します。④日中活動(作業・個別プログラム・クラブ活動)は昨年度を踏襲し、内容の向上を図っていきます。⑤利用者が地域生活に移行できるように本園独自の自活訓練を行います。⑥広報では、「ひだまり」は情報公開紙として、「一歩一歩」は自治会紙として発行します。⑦施設オンブズマン制度では、第三者委員による苦情解決制度や施設サービス制度の充実を図ります。⑧総合防災訓練は、9月に消防署や地域消防団と連携の基に夜間避難訓練を含め終日行います。

検討事項としては、①障害者自立支援法に係わる検討を随時行います。②利用者の地域生活への移行や新事業体系への移行のための検討・準備を行います。

事業は順調に実績を上げており、概ね昨年度事業を踏襲してまいりますので、皆様方のご支援を引き続きお願いいたします。

(施設長 恵下 均)



千手園日記

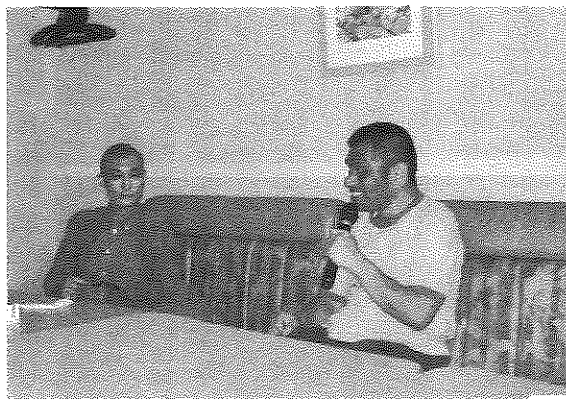
一日外出 6.8

その日は朝からソワソワした空気が漂っています。それもそのはず、今日は月に一度皆さんが楽しみにしている一日外出の日なのです。買い物、ドライブ、食べ歩き…様々な企画がありますが、今回はその中でカラオケ企画にスポットを当ててみたいと思います。

カラオケグループはユーカリが丘駅前のシダックスへと出かけました。歌う事が大好き、音楽を聴く事が大好き、リズムを感じる事が大好きという音楽をこよなく愛するメンバーでの外出です。カラオケ以外の事は行わず、昼食もシダックスで食べるというまさにカラオケ三昧コースでした。シダックスへ向かうモノレールの中から「先生を歌いたいよ」「北国の春を歌う」と気分はすっかりカラオケモード。いざシダックスに到着すると、歌いたい気持ちで一杯になった一行はすぐに歌集を広げ、どんどんリクエストします。リクエストの仕方も様々で、直接曲名を言う方や、歌手の名前を挙げその人の曲なら何でも歌う、という強気の選曲をする方、選曲して欲しい曲のメロディーを口ずさむ方と十人十色です。みんなのリクエストが出揃い、音楽が流れ出すといよいよ宴の開催です。自分の十八番を気持ち良く歌っている方、壁を叩いてビートを刻んでいる方、そのリズムに合わせて踊っている方…。決して尽きないリクエストと共にみんな陽気に歌い踊るのです。

No Life No Music !

(高橋克)

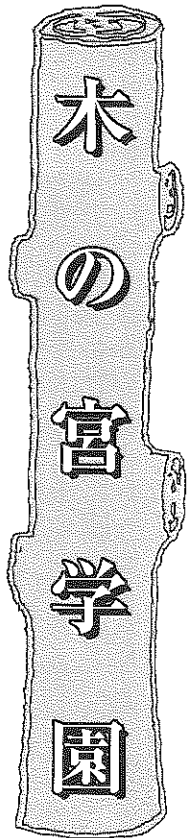


熱中プロ野球？

初夏の風吹く5月15日、千葉マリンスタージアムへ野球観戦に出掛けました。地元千葉ロッテマリンスターズと西武ライオンズとの対戦とあって、俄然盛り上がりです。道中の車内で応援やお土産の話で盛り上がりつつあった面々ですが、球場を目の前にすると皆見入ってしまい無口になってしまいました。ゆつくりと中に入ると、見渡す限りの芝生と応援団の大歓声。あつと言う間に球場の雰囲気に取り込まれてしまいました。試合が始まると、それぞれの知識を駆使しての解説が始まりました。「今の球はストレートだ」「ダブルプレー、チェンジ」まるでラジオを聴きな

が試合観戦をしているみたい。応援団に負けない盛り上がり、周囲のお客さんの視線も集めてしまいました。試合の合間にはマリンスタージアムのバックに、少し早い花火を観る事ができました。なかなか間近で花火を観る機会が無いので、皆すっかり花火に心を奪われてしまいました。帰りの車内では会話に途切れがありません。しかし話の内容は次第に野球から花火に移っていきます。「すごかったね」「また観たいね」と大絶賛。「今日は花火じゃないって、野球観戦に行ったんですよ」と言う言葉を飲み干して、「また行きましょうね」と笑顔を返しました。(永瀬)





平成十九年度 事業計画

前年4月に障害者自立支援法が一部施行になり、日々単

価制が導入され大幅な減収が

推測された中、昨年度は比較的減収幅を低く抑えられました。しかし、とても不安定な状況下での運営であり、常時安定したサービスの質を確保するには、今後も相当な試練が予測されます。具体的な対策としては、①毎月22日間×12ヶ月＝264日間の開所を計画します。②定員の緩和措置により厚生労働省が定める基準の範囲内にて利用契約者を増やしていきます。③来年度を目途に新事業体制移行における方向性を定めていきたいと思

います。又、地域生活支援事業（市町村事業）の取り組みにより、現在の提供サービスが低下しないことを前提に行政と連携し、柔軟かつ独自性のある事業展開を継続していきます。

今後も法の行方に注視しながら、本人主体の、一人一人が豊かな人間性と個性を備えた、人として充実した生活を築き、地域での安心した暮らしを支える援助サービスの拠点として、次の各項目を主に取り組んで参ります。

①自分らしい生活の為に個々に合わせた支援を行い、本人のニーズ、家族も含め専門職（医師・理学療法士・ケースワーカー・ケアマネジャー）と連携を取りながら、個別支援計画の見直し・評価・報告を行います。

②利用者一人一人が充実した学園生活を送る中で、生きがいを持って生活できるよ

うに日課の見直し・改善を行いつつ、今後の施設事業のあり方を研究し生活介護事業への移行準備をしていきます。

〈サービスプログラムチーム〉

③一人一人のライフステージに応じた、地域での充実した生活を目指し、関係機関・専門員の連携・協力を得ながら地域生活支援センター「レインボー」としての事業展開を図ります。千葉県委託事業としての訪問療育支援・外来療育支援・一般指導事業により市内および近隣に暮らしている障害を持つ方や家族の相談に応じ、各種福祉サービスの紹介や情報の提供を行います。更に本人が利用する保育園・幼稚園・学校・障害児施設などを訪問し、その事業所の職員に対し専門的な助言などを行います。又、

しての役割を担います。加えて佐倉市委託事業として相談・サービス利用計画作成・連絡調整会議・余暇支援・情報提供・ボランティア育成を行います。更に地域自立支援協議会の設置に向けたネットワーク構築・協議を実施します。

〈コミュニケーションサポートチーム〉

本年度より活動内容の充実を図る目的で各部門の名称が変更になり、新事業への移行を検討・準備していきたいと思っております。これまでであった権利擁護部門はサービス評価会議にその役を移して活動していきます。

以上、今年度も地域の社会福祉資源としての自覚と視野を広げた知識を一層深めていきたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

（施設長 稲阪 稔）

ウキウキ ショッピング



雨の中「ららぽーと柏の葉」へ行ってきました。新しい施設で、参加の利用者の方達も、職員も少しウキウキ！交通渋滞もなんのその、何を食べようか、何を買おうかで車内が盛り上がりました。話題のつくばエクスプレスの駅の前におしゃれな外観で「ららぽーと」は待っていてくれました。さっそくレストラン探し。お肉を食べたいとのリクエストにお応えし、ステーキ、ハンバーグのお店へまっしぐら。思い思いに美味しいお料理を食べ目的の半分は達成!!さておみやげは?と広い館内をぶらぶらめぐり、アクセサリーやらお菓子やらを時間をかけて選びそれぞれ袋を提げて満足。天気も悪く平日の行事だったので空いているしもちろん待ち時間もゼロ。近場の外出でしたがみなさん、楽しそうでした。

(百瀬)



正面から入ると色々なデイズニートのキャラクターがお出迎え!一緒に並んで夢中で写真を撮ります。そのままイクスピアリ内を楽しくウインドウショッピング。充実した一日となりました。

(小石)

二つの千葉県的美味しさを楽しみました。
千葉と言えば「酪農」。千葉酪農農協組合の農園にて散策しました。
牧草地を両側に心地良く歩いていくと牛舎に到着。たくさん牛が迎えてくれました。「ウシ」と元気に言っても怖いのかあまり近付かずに見る人、多くの牛たちを目の前に笑う人、それぞれ楽しんでいました。散策の後には、農園の特製アイスを食べてひと休み。

千葉と言えば...

成東と言えば「イチゴ」。成東のマルキ苺園にていちご狩りをしました。ハウスは高設栽培のため足下も快適で車椅子に乗りながらでもイチゴを目の前にして取ることができました。他のメンバーもハウスの中を隅から隅へと美味しいイチゴを求めて歩き回りました。
真っ赤なイチゴを見つけてそのままパクリ。甘い練乳と一緒にパクリ。どちらも美味しそうに食べていました。(小川由)



木の宮日記

今回のニード別外出は『ランチ&ショッピング』という事で舞浜まで行ってきました。昼食はバスターランチ、素敵なホテルに少々皆で緊張しながらも「魚のスパゲティが食べたい」等と言いつつ好きなパスタの種類を選んでいました。「デザートが美味しい」と言いながらあつという間にランチをペロリ!その後ホテルを出発する時に正面に停車していたミッキーマウスのバスの前で記念撮影!そのままデイズニードランドに行つてしまいたい気持ちを押さえて次の目的地のイクスピアリへ向かいます。有名なデイズニードランドホテルの

素敵なホテル

南部よもぎの園

指定管理者社会福祉法人千手会

平成十九年度 事業計画

南部よもぎの園は、佐倉市として初めてとなる福祉施設の指定管理者制度の導入となります。

- ① 指定を受ける側としても、期待と不安が交錯してはいますが、利用者や家族にとっては、更に不安が大きいのではと思えますので地域での生活支援体制及び就労支援体制の充実を第一に様々なご意見やご要望に対して、誠実な対応を心掛けていきたいと考えています。
- ② 本年度の事業計画の主な事項としましては、
- ③ 毎月の開所日数を、昨年度の約19日から22日に増やし、概ね第4土曜日を開所とします。
- ④ 利用定員を20名に対し、本年度のスタートは12名となります。より多くの方々に利用していただけるよう地域にアピールしていきま
- ⑤ 作業収入の安定化を図れるように概ね、昨年度の作業内容を継続しながら、新しい作業種目の導入を検討し

ていきます。

- ④ 文化的活動として、昨年度に引き続き、手芸教室、音楽教室を行います。
- ⑤ 行事面では、5月に宮前よもぎの園との合同運動会を行います。また法人合同行事として、9月の千手会フェスタ、1月の新年会を行います。
- ⑥ 健康管理としては、作業中の安全管理を徹底すると共に細心の注意を払い、健康診断や予防接種等を行い、疾病等の予防・早期発見に努めます。

運営的には、正直厳しい状況が予測されますが、利用者・家族の皆様と共にできる限り早期によりよい運営体制の基礎を構築し、指定管理期間である3年の間には、多機能型への移行も考慮しつつ、地域の就労支援体制の基礎整備に微力ながら努めてまいります。

(サービス管理責任者兼管理者) 菅野さより



さくら千手園 作業指導員 五明 満里

4月から千手園で働く事になりました五明(ごみょう)です。家では中三・小六・小四・年長の四児の母です。園でも母としての気持ちで接していきたいと思っています。まだ力不足で皆さんの温かい心・笑顔・優しい気持ちに助けられています。精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願致します。



さくら千手園 生活支援員 榎田 聖美

4月から千手園で働く事になりました。毎日毎日が新鮮で、そして楽しく皆さんと過ごさせて頂いてます。まだまだわからない事がたくさんありますが利用者さんとコミュニケーションを図り、色々な事を学んでいけたらと思っています。精一杯頑張りたいと思いますので温かい目で見守って下さい。



さくら千手園 作業指導員 飯田 久子

はじめまして5月から千手園で勤務しています。働き始めて一番驚いた事は、利用者の方が元氣いな事でした。今は覚える事もたくさんあり利用者の方の名前や顔を覚えるので精一杯です。が、これから一日一日と利用者の方と共に同じ時間を過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願致します。



さくら千手園 作業指導員 湯浅 由美

はじめまして。4月より、さくら千手園の支援課でお世話になっております。まだまだ未熟です。経験豊かな先輩の指導を頂きながら、利用者さんと心をつなぎ、生活上のお手伝いをさせていただきます。そして、共に成長していきたいと思っております。ご迷惑を掛けまうことかあると思っておりますが、元氣で頑張ります。



南部よもぎの園 生活支援員 山本 奈緒子

福祉の仕事に就いて早十数年。これも何かの縁でしょうか？又、同じ法人に勤めさせて頂く事になりました。福祉も自立支援法など色々かわって行く中で、勉強しつつ、初心を忘れずに自分なりの支援をしていきたいと思っています。初心よりも、ちょっぴりパワーは落ちましたが、元氣いっぱい毎日過ごせたらと思っています。どうぞよろしくお願致します。



木の宮学園 相談支援員 藤井 久美子

だ慣れないことばかりですが、前向きにがんばっていきたく思います。息子や友達からは、「大阪のおばちゃん」と呼ばれていますが、少しづつ化けの皮が剥がれ、遂にはこちらでも「おばちゃん」と呼ばれるのではと恐れています。これからも皆様のお力添えを頂きつつ、少しでもお役に立てるよう、努力してまいります。よろしくお願致します。



南部よもぎの園 職業指導員 保川 貴子

この度、縁あって南部よもぎの園に勤めさせて頂くことになりました。日頃、利用者の皆さんが真剣に作業に取り組む姿に感心しております。又、素直で健気な様子に感動しております。毎日、利用者の方から元氣なパワーも頂いております。皆さんに必要とされる支援ができるよう、頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。



木の宮学園 作業指導員 保川 裕美

初心を忘れずに日々努力していきたいと思いたいと思っております。また、笑顔たやさず接していきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。



南部よもぎの園 職業指導員 熊谷 数宣

1950年生まれ、俗に言う「団塊の世代」の最終年。男子厨房に入らずが当たり前の世代、自動車・飲食業と、この職業とは全く異なる仕事にこの人間、まさか、このような仕事に就くとは思っていません。案の定と云おうか日々思う事の連続、今迄経験、学習してきたもの、見聞きした物が通じなくて落ち込んだりする事が多かった。やがて、2ヶ月になろうとしてようやくこの仕事の面白さと、喜びができたようだ。

新任職員紹介



さくら千手園 看護師 小野田 節子

勤務して、4ヶ月が過ぎました。なんとか、皆様に助けられて仕事させて頂いておられます。看護師として、毎日皆様が元氣で楽しい暮らしができるというなあと願っています。まだ、わからないことだらけですが、いろいろ教えて下さい。何かございましたら、どうぞ医療室にお越し下さい。お待ちしております。



さくら千手園 生活支援員 君塚 由佳

4月から、さくら千手園の生活支援員として働いております。実家の松戸市より通勤をしていきます。佐倉市の事は知らないのですが、皆さんに色々教えて頂きたいです。利用者の安全や日常生活上のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



さくら千手園 生活支援員 宮内 竜也

4月よりお世話になっております。実家は流山で、今は上座に1人暮らしをしています。専門学校では児童福祉科に在籍し、幼稚園教諭二種免許と保育士の資格を持っております。知識も技術も皆さんには到底及ばないと思っておりますが、日々努力してまいりますのでどうぞよろしくお願致します。



さくら千手園 生活支援員 高橋 緑

4月から支援員として働く事になりました。まだまだわからない事がたくさんあったのですが、迷惑をおかけするとは思いますが、笑顔をモットーに頑張りたいと思っております。自分から話しかけたりするのがあまり得意ではないので、どんどん話しかけて下さい。

行事予定



7月		⊕ ⊕
13日	親子日帰り旅行	
19日	個別外出	
8月		⊕ ⊕
3日	ニード別外出(パーク・バーベキュー)	
30日	個別外出	
9月		⊕ ⊕ ⊕
4日	総合防災訓練	
11日~27日	千葉県ゆうあいピックソフトボール大会	
15日	千手会フェスタ	
21日	ニード別外出(高尾山登山)	
27日	個別外出	
10月		⊕ ⊕ ⊕
3日	千葉県障害者フライングディスク大会	
5日	ニード別外出(ディズニーリゾート)	
18日	個別外出	
26日	ニード別外出(テーマパーク)	

⊕: さくら千手園 ⊕: 木の宮学園 ⊕: 南部よもぎの園

「寄付に感謝いたします」

伊藤忠建機株式会社様
佐倉市更生保護女性会様
観音寺 安田芳照様
*日頃より当法人に対して、ご協力を賜り衷心よりお礼申し上げます

ボランティア募集

千手会

☆第2回千手会フェスタ

一緒に祭を盛り上げてくれる方を募集しています。

日時 平成19年9月15日(土)
10時~15時

※10時~フリーマーケット

※10時30分~オープニング

場所 千手会グラウンド等
内容 模擬店のお手伝い・駐車場係等

お問い合わせ 8月末日まで

Tel 043-462-2008

担当: 蜂谷・辻村・宮内

さくら千手園

洗濯たたみボランティア募集

千手園利用者の洗濯たたみをお願いします。

活動時間は毎月第二週目の日曜日午前10時~11時半までです。

お問い合わせ

Tel 043-462-2008

担当: 新井・田川

木の宮学園

活動ボランティア募集

作業活動

- 月曜・金曜の午前・午後
- 火曜・木曜の午前
- ◆農芸・陶芸・縫製・木工・外注・クッキー

グループ活動

- 火曜・木曜の午後
- ◆体力づくり・スポーツ生
- 活・音楽・のびのび・美術
- フリータイム
- 水曜の午後

◆プール・散策・カラオケ・手芸・工作など

活動時間は午前10時~12時
午後は13時~15時です。
午前のみ・午後のみの場合でもご都合に合わせて参加して下さい。

お問い合わせ

Tel 043-463-1128

担当: 小宮・藤井

南部よもぎの園

作業ボランティア募集

箸入れ・箱折り等の軽作業を利用者と一緒に行ってくれる方を募集しています。
月曜~金曜9時~16時

お問い合わせ

Tel 043-483-2829

担当: 菅野・山本

お世話になりました

渡邊千恵子(さくら千手園看護師)
保谷 高光(さくら千手園支援員)
長谷川隆太(さくら千手園支援員)
海老澤香織(さくら千手園支援員)
矢島 利恵(さくら千手園支援員)
斉藤 薫(さくら千手園事務員)
市川美津子(さくら千手園調理員)

異動

4月1日付 菅野さより

さくら千手園から南部よもぎの園へ

4月1日付 宮本 寧

木の宮学園からさくら千手園へ

編集後記

世間では、団塊の世代の定年で労働力不足が問題となつていきます。福祉業界では一般企業の雇用に好調のため、より一層労働力不足が深刻です。

対人援助職は支援するばかりではなく、相手から学ばせてもらう事も多い仕事だと思っています。同時に自分の特技、人生経験を生かせる場でもあると思います。意欲を持った人の力を發揮できる魅力ある環境作りを国全体で考える時期ではないでしょうか。

(新井真)